

平成30年度第2Q定期試験・補講日程表 ※定期試験・補講期間中は教室が通常の教室とは異なる場合があります。以下の表で実施教室を必ず確認してください。

平成30年7月25日更新

工学研究科学務課教務学生係

学科・専攻	試験/補講の別	実施日	実施 時限	授業科目名称	時間割 コード	主担当教員	使用教室	試験の 持込	筆記用具以外の 持込資料・機器	備考
工学 博士前期 建築学専攻	授業(補講)	8月2日	1限	避難計画特論B	2T405	北後 明彦	C2-202			
	授業(補講)	8月2日	2限	建築熱環境工学B	2T414	松下 敬幸	C3-203			
	授業(補講)	8月2日	2限	建築構造システム論2	2T409	谷 明勲	LR303			
	授業(補講)	8月2日	2限	防振耐震工学2	2T410	藤谷 秀雄	C3-201			
工学 博士前期 市民工学専攻	授業(補講)	8月1日	3限	コンクリート工学特論	2T453	森川 英典	LR404			
	授業(補講)	8月1日	4限	コンクリート工学特論	2T453	森川 英典	LR404			
工学 博士前期 電気電子工学専攻	試験	8月1日	2限	固体物性特論Ⅱ	2T502	喜多 隆	LR403	不可		
	試験	8月2日	1限	プラズマ工学特論B	2T503	竹野 裕正	LR304	可	授業で指示	
	試験	8月3日	5限	特別講義ⅠB	2T511	田口 幹朗	LR402		授業で指示	
工学 博士前期 機械工学専攻	試験	8月1日	2限	破壊力学Ⅱ	2T552	中井 善一	LR204	可	自筆ノート, 教科書, 電	
	授業(補講)	8月2日	2限	マイクロシステム設計工学Ⅰ	2T560	菅野 公二	C2-302			
	授業(補講)	8月2日	5限	科学技術英語Ⅱ	2T564	野口 ジュディー 津多江	3E-304			
	授業(補講)	8月3日	3限	計算流体力学Ⅱ	2T563	林 公祐	LR304			
	試験	8月6日	1限	信頼性工学Ⅱ	2T553	阪上 隆英	C2-201	可	配布資料, 自筆ノート, 電卓	
	授業(補講)	8月7日	1限	人工システム開発論Ⅰ	2T561	妻屋 彰	LR303			
	授業(補講)	8月7日	3限	知能化生産システム論Ⅱ	2T559	白瀬 敬一	C2-101			
工学 博士前期 応用化学専攻	試験	7月24日	2限	反応工学特論2	2T606	西山 覚	C2-101	可	関数電卓	自筆のノートのみ持ち込み可 スマートフォン等通信機能 を有する機器での電卓 アプリの使用は認めない。
	試験	7月24日	4限	多相系移動現象論2	2T607	鈴木 洋	C1-201	不可		
	授業(補講)	7月28日	2限	無機構造論	2T602	梶並 昭彦	C2-301			
	授業(補講)	7月28日	3限	無機構造論	2T602	梶並 昭彦	C2-301			
	試験	8月1日	6限	高分子化学特論	2T605	南 秀人	C4-201	不可	電卓	
	試験	8月7日	1限	応用物理化学2	2T601	石田 謙司	LR402	不可	関数電卓(スマホ使用不可)	

平成30年度第2Q定期試験・補講日程表 ※定期試験・補講期間中は教室が通常の教室とは異なる場合があります。以下の表で実施教室を必ず確認してください。

平成30年7月25日掲載

工学研究科学務課教務学生係

学科・専攻	試験/補講の別	実施日	実施 時限	授業科目名称	時間割 コード	主担当教員	使用教室	試験の 持込	筆記用具以外の 持込資料・機器	備考
システム 博士前期共通	授業(補講)	8月2日	3限	システム運用論	2X001	藤井 信忠	LR304			
	授業(補講)	8月2日	4限	システム運用論	2X001	藤井 信忠	LR304			
	授業(補講)	8月3日	2限	センシング論	2X007	的場 修	LR404			レポートを実施します
	授業(補講)	8月7日	4限	センシング論	2X007	的場 修	LR404			レポートを実施します
	授業(補講)	8月7日	5限	先端融合科学特論Ⅰ-13a Smarter Worldを実現するIT・RT 技術の創成	2X014	大川 剛直	LR401			
システム 博士前期 計算科学専攻	試験	8月7日	1限	計算材料学2	2X301	石田 謙司	LR402	不可	関数電卓(スマホ使用不可)	
	授業(補講)	8月9日	5限	大規模シミュレーション総論A2	2X302	今村 俊幸	LR204			

試験に関する注意事項

1. 受験の際、学生証を必ず携帯すること。
2. 試験室にて不正行為のあるときは、直ちに嚴重なる処罰をする。
#学生便覧を参照のこと
3. 試験開始後20分間は、受験者の退室を認めない。
4. 試験開始後20分を経過した後は、受験者の入室を許さない。
5. 答案用紙は、答案の成否に拘らず各枚毎に必ず学籍番号・氏名を記入して提出すること。
6. 答案用紙に他事記載を禁ずる。もしこれを記載したときは不利益を受けることがある。
7. 試験に不必要なものは、一切かばん類の中へしまいか又は所定の場所へ置くこと。
8. 不正行為と誤解を受けるような物が机の中にある場合あるいは机上及び周辺の壁に落書きがある場合は、試験監督教員に届け出ること。
9. 一旦退室した者は、いかなる理由によっても受験者全員の答案回収が済むまで再入室を許さない。
10. 携帯電話等の通信機器を時計もしくは電卓の代わりに使用することは一切認めないので、必ず電源を切った上でかばん等の中へしまっておくこと。
試験中、これらの機器に触れている場合、ポケット等に入れている場合、もしくは机の上あるいは中に置いている場合、不正行為とみなす。
(なお、試験時間中にかばん等の中で着信音やマナーモードの振動音等が発生した場合は、監督者が本人の了解を得ずにかばん等を試験室外に持ち出すことがある。)
11. 警報等の発令により試験が実施されなかった場合、代替日はその都度掲示する。

工 学 部
工 学 研 究 科
システム情報学研究科